

富山高等専門学校		開講年度	平成27年度 (2015年度)		授業科目	総合英語Ⅲ	
科目基礎情報							
科目番号	0008			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 3		
開設学科	機械システム工学科			対象学年	3		
開設期	通年			週時間数	3		
教科書/教材	TOMORROW 読んで考える最新トピック15 (室井美稚子、桐原書店)、英会話 1 日 1 パターンレッスン (デイビッド・セイン、PHP研究所)、自作配付プリント						
担当教員	富田 尚						
到達目標							
読解力、聴解力、表現力を向上させる。 語彙・文法・構文を身につける。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
読解力	要点をとらえながら英文を読み進め、概要・主旨を十分理解、つかむことができる。			要点をとらえながら英文を読み進め、概要・主旨を理解、つかむことができる。		要点をとらえながら英文を読み進め、概要・主旨を理解、つかむことができない。	
聴解力	要点をとらえながら英語を聴き取り、その概要・主旨を十分理解、つかむことができる。			要点をとらえながら英語を聴き取り、その概要・主旨を理解、つかむことができる。		要点をとらえながら英語を聴き取り、その概要・主旨を理解、つかむことができない。	
表現力	英語を読んだり、聞いたりして得たことを用い、英語を書いたり、英語で口頭発表することがかなりできる。			英語を読んだり、聞いたりして得たことを用い、英語を書いたり、英語で口頭発表することができる。		英語を読んだり、聞いたりして得たことを用い、英語を書いたり、英語で口頭発表することができない。	
語彙・文法・構文	英語を読む、書く、聴く、話す際に必要となる語彙・文法・構文が十分身につけている。			英語を読む、書く、聴く、話す際に必要となる語彙・文法・構文が身につけている。		英語を読む、書く、聴く、話す際に必要となる語彙・文法・構文が身につけていない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	身近なトピックから社会問題まで、様々なジャンルのエッセイや会話文に触れながら、語彙・文法・構文を身につける。 また、聞き取りや発音練習を通して、読解力のみならず、聴解力、表現力を向上させる。						
授業の進め方・方法	講義及び演習						
注意点	1. 予習をして授業に臨むこと。 2. 付属CDを活用し、音読練習をすること。 3. 『英会話 1 日 1 パターンレッスン』の 50 パターンをマスターすること。 4. 授業で分からなかったことは積極的に質問すること。 5. 授業計画は、学生の理解度に応じて変更する場合がある。						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション			授業の進め方について理解する	
		2週	Unit 1			スポーツに関するエッセイが理解できる	
		3週	Unit 1			同上	
		4週	Unit 2			教育に関する会話文が理解できる	
		5週	Unit 2			同上	
		6週	Unit 3			科学に関するエッセイが理解できる	
		7週	Unit 3			同上	
		8週	中間試験				
	2ndQ	9週	中間試験の返却、解説			誤答分析	
		10週	Unit 4			建築に関する会話文が理解できる	
		11週	Unit 4			同上	
		12週	Unit 5			エネルギーに関するプレゼンテーションが理解できる	
		13週	Unit 5			同上	
		14週	Unit 6			文化に関するエッセイが理解できる	
		15週	Unit 6			同上	
		16週	期末試験の返却、解説			誤答分析、アンケート	
後期	3rdQ	1週	Unit 8			通信技術に関する会話文が理解できる	
		2週	Unit 8			同上	
		3週	Unit 9			レディー・ガガに関するエッセイが理解できる	
		4週	Unit 9			同上	
		5週	Unit 10			イギリスの歴史と文化に関するエッセイが理解できる	
		6週	Unit 10			同上	
		7週	Unit 11			スティーブ・ジョブズに関するエッセイが理解できる	
		8週	Unit 11			同上	
	4thQ	9週	中間試験				
		10週	中間試験の返却、解説			誤答分析	
		11週	Unit 12			世界の食糧不足に関するプレゼンテーションが理解できる	
		12週	Unit 12			同上	

		13週	Unit 13	経済に関する会話文が理解できる
		14週	Unit 13	同上
		15週	Unit 13	同上
		16週	期末試験の返却、解説	誤答分析、アンケート

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	小テスト	提出課題	合計
総合評価割合	60	25	15	100
基礎的能力	60	25	15	100
専門的能力	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0